

令和元年度

草津市勤労者福祉施設運営審議会 会議録

■日時：

令和2年2月4日（火）10時00分～11時30分

■場所：

草津市立市民交流プラザ 中会議室

■出席委員：

岡本会長、北川副会長、尾崎委員、川口委員、鈴木委員、田中委員、山本委員、矢守委員

■欠席委員：

江藤委員

■事務局：

商工観光労政課 井上課長、河原課長補佐、村井主事
株式会社ビバ（指定管理者） 楠居氏、岡村氏

■傍聴者：

0名

1. 開会

【井上課長】

本日は、公私共にお忙しい中、草津市勤労者福祉施設運営審議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から、労働行政の推進に格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本審議会は、勤労者福祉の増進と市民相互の交流の支援を設置目的として様々な事業を展開しております市民交流プラザの適正な管理・運営、その他の必要な事項に関しまして、審議いただくものでございます。

当市民交流プラザも開館から18年目を迎え、平成29度からは指定管理者制度の導入を開始するなど、運営・貸館状況も変化をしております。本日は、現状や運営状況等につきまして御説明させていただき、皆様方から忌憚のない御意見を頂戴いたしまして、勤労者並びに市民の皆様にとりまして、利用しやすく、また、役立つ市民交流プラザの構築へと繋げてまいりたいと考えております。

委員の皆様には、限られたお時間ではございますが、積極的なご意見を賜りますようお願い

い申し上げます。

簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

2. 委員自己紹介、事務局紹介

3. 会長および副会長の選出

事務局より、会長に岡本委員、副会長に北川委員を提案し、承認される。(草津市勤労者福祉施設運営審議会条例において、会長および副会長は委員の互選により定めるとなっているが、委員より事務局一任の声があったため。)

4. 審議事項

(1) 令和元年度事業実施状況について

①利用状況の推移について

【事務局】

<利用件数・稼働率・利用者数・平均利用者数の直近の実績について説明>

【会長】

(1) ①の「利用件数」と「利用者別一覧表」の数字を単純に見比べると合わないが、なぜか。

【事務局】

小会議室1、2、3や和室は1室をパーティションで仕切って貸し出すことができ、例えば1室を2つに仕切れる部屋を半分でも、1室まるごとでも利用があれば「利用件数表」においては1件のカウントであるが、「利用者別一覧表」においては、1室を労働と一般で利用がある場合は、労働1件、一般1件の計2件というカウントをしているため、算出の仕方によって数字が異なっている。

②主催講座について

【事務局】

<平成30年度の実績および令和元年度の実績と予定講座について説明>

【会長】

それぞれの講座の男女比をおおよそでいいので教えていただきたい。

【事務局】

- ・健幸講座（反射区療法）・・・男2：女8 シニア世代が多いが、若い女性もいる
- ・健幸講座（ヨガ）・・・男0：女10 40～50代が中心
- ・まいにちビブリオバトル・・・男7：女3

- ・アカペラ講座・・・男2：女8 親子連れの参加もある
- ・健康講座（うつになる前に知っておきたい5つのこと）・・・男6：女4
- ・健幸講座（アロマバスボムづくり）・・・男0：女10

【会長】

全体的に参加者は女性の割合が多いが、男性の参加をどれだけ集められるかが課題になってくると思う。これを踏まえて次年度以降対応していただけたらと思う。

【委員】

それぞれ参加費はかかるのか。

【事務局】

有料と無料のものがある。

- ・健幸講座（反射区療法）・・・有料（500円/回）
- ・健幸講座（ヨガ）・・・有料（全12回 12,000円）
- ・まいにちビブリオバトル・・・無料
- ・アカペラ講座・・・有料（大人 1,500円/回、中学生以下 1,000円/回、未就学児 無料）
- ・健康講座（うつになる前に知っておきたい5つのこと）・・・有料
- ・健幸講座（アロマバスボムづくり）・・・有料

【委員】

近隣にスポーツジムがあるが、それでもヨガ講座は参加があるのか。

【事務局】

健康意識の高まりの影響で、継続して参加していただいている方がいる。

【会長】

どの部屋で開催しているのか。

【事務局】

和室。軽運動室は一般の方の利用で稼働率90%を占めてきている状況なので稼働していない部屋を活用している。

【会長】

6階にあるビバスポーツアカデミーではヨガを実施していないのか。

【事務局】

実施しているが、ビバスポーツアカデミーが実施するヨガは、午後や夜間が多いが、その時間帯に行けない方がプラザのヨガに参加されている。プラザは10時から11時の時間帯で実施。

【会長】

男性や勤労者を呼び込める時間ではなさそう。

(2) 令和2年度事業実施計画について

①主催講座実施計画（案）

【事務局】

<令和2年度の主催講座実施計画（案）について説明>

【会長】

各講座が開催される時間帯を教えてください。

【事務局】

- ・ 健幸講座（反射区療法）・・・主に13時ごろから1時間30分
- ・ 健幸講座（ヨガ）・・・10時から11時、毎週火曜日
- ・ まいにちビブリオバトル・・・火、金は19時30分から20時30分、
土、日は14時から15時
- ・ アカペラ講座・・・①15時から17時 ②19時から21時
- ・ 草津カマコン・・・時間等の詳細は未定であるが、多くの方が参加しやすい時間帯を検討している

【委員】

働く方は17時以降が参加しやすい時間になってくると思うので、そういった時間帯に健康に関する講座があればと思う。

【委員】

働き方改革の関係で、定時退社される方も増えていると思うので、仕事帰りに参加できたらと思う。また、休日に親子で参加できるイベント等があればと思う。

【委員】

カマコンは、市等も巻き込んで実施するものか。

【事務局】

市の協力をいただきながら、にぎわい創出の施設として市を活性化していきたいと思っている。官民連携を視野に入れている。

【委員】

南草津の若いお母さん世代が活躍しているのを耳にするので、うまく活用していったらいいのでは。

【会長】

UDCBKとの関わりは？

【事務局】

UDCBKでは、セミナーや講座を開催していると思うので、そこで学んだことを市民交流プラザでは実践する場として、一連の流れで活用していただけたらと思う。

【会長】

このような活動をしていくには、広報も必要だと思うが、FMくさつをいかに巻き込んでいけるかも課題になっていくと思う。

【事務局】

平成30年度にビブリオバトルをFMくさつで放送したら、それを聞いて参加された方もいたので、カマコンでの活用も検討していきたい。

【委員】

転勤で草津市に引っ越してきたのだが、自主事業(講座)の取り組みを知らなかった。どうやったら知ることができるか。

【事務局】

市民交流プラザのHP、館内のチラシ。市民交流プラザのSNSの準備も今後検討していく。

【委員】

SNSやロコミの影響力が大きいのでは。周囲も講座のことを知らない人のほうが多いと思う。参加者も常連のほうが多いのではないか。

【事務局】

常連が多くなってきている。ビブリオバトルは試験的にSNSの運用をしており、公式Twitterは3年間でフォロワーは200人ほどで、Twitterを通じて興味を持ち、参加されている方もいる。

【委員】

人を集めるのであれば、子どもを主体にすれば、親や祖父母も自然と集まってくるので、子どもを通じた影響力や結束力を活用すればいいのでは。

【会長】

草津市の小学校ではビブリオバトルを開催しているが、小学生がいない家庭や中高年の方は、まだまだ知ってもらえていないと思うので、広報に力をいれてほしい。

(3) その他

①使用料の改正について

【事務局】

<令和2年4月1日以降の使用分から新料金を適用することを報告>

【委員】

昨年の審議会でも意見があったと思うが、外国人の方をどうやって巻き込んでいくのか。

【事務局】

カマコンの中で巻き込んでいけたらと思っている。市民団体も外国人の巻き込みを重要視している。

【委員】

小会議室は一般市民でも利用できるのか。自閉症の子どもを持つ親の悩みを話し合う場としてサークルをつくったので、今後市民交流プラザの利用を考えていきたい。

【事務局】

子育て世代にも利用いただいているので、ぜひ利用いただきたい。

【会長】

料金体系はどのようなものか。

【事務局】

市の主催や共催、後援がある事業等は、減免がある。

【委員】

利用状況を確認すると、空きがなかったり、料金の面で利用をあきらめることがある。カマコンや講座を通じて社会参加していきたい。時間帯や子連れ可能かによって参加できるかどうかが変わってくるが、講座は子連れでの参加は可能か。

【事務局】

アカペラについては、未就学児の参加も可能であるが、その他の講座については、現在のところ子連れは想定していない。託児室を利用される場合は、安全面から子どもを見守る大人の方を1名置いていただくようお願いしている。

【委員】

ターゲットの世代はだれか。

【事務局】

施設の設置目的からも、勤労者の方がターゲット。特に働きながら子育てする方から、もっと利用しやすい環境を求める声があるので、検討していきたい。

【委員】

草津市内で働いている方でも、市外に住んでいる人が多い。講座などの情報を得にくいので、SNS等で情報発信していただくと興味を持つ人が増えるのではないかと思う。仕事帰りに気軽に立ち寄れる講座があれば参加しやすいのでは。

【委員】

予約をとりにくくなってきており、使いづらさを感じることもあるので、予約の方法や時間貸しの検討してもらえると、使いやすくなるのでは。

【事務局】

予約の在り方等、利便性の観点から検討していく。

【委員】

会議室は飲食可能なのか。

【事務局】

飲み物は可能だが、食べ物は禁止している。

【委員】

申請は、電話できないのか。窓口まで来ないといけないのか。

【事務局】

そうである。労働団体のみ電話で仮予約を受け付けている。

【副会長】

自分自身が草津市民でないため、職場にいる草津市民に事前に配布された会議資料を見ながら話しあっていたが、草津市民でも主催講座等の取り組みを知らない人が多かった。長く草津に住んでいる人でも知らないということがわかったので、広報に力を入れていってほしい。子どもがいる人にとっては、託児があれば参加しやすいと思う。男性は、講座にあまり関心がない様子だった。

【会長】

市民にSDGSの取り組みを浸透させるために、各講座にSDGSの17の項目のうちどれが該当するのかをチラシ等で示す等で、取り込んでいただいたら、市民が興味関心を示すのではないのかと思うので、検討いただけたらと思う。

【事務局】

会社（株式会社ビバ）としてもSDGSを推進している。講座を通じてSDGSを推進していきたいと思っている。

5. 閉会

【河原課長補佐】

会長におかれましては、議事進行の大役、誠にありがとうございました。また、会長をはじめ委員の皆様におかれましても、活発な議論、貴重な御意見を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

来年度の審議会の開催についてでございますが、来年度も今年度同様、市民交流プラザの適正な管理と運営についてご審議、ご意見をいただく場といたしまして、年一回の開催を予定しております。

現在のところ、今回と同じく2月頃の開催を予定しておりますので、御出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、これもちまして、令和元年度の草津市勤労者福祉施設運営審議会を終了いたします。皆様長時間、どうもありがとうございました。

以上